

2月2日

第3回（午前B）思考表現入試  
問題

注意

1. 開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
2. 答えは、解答用紙の解答らんにはっきりと書きなさい。
3. 解答用紙の1枚目と2枚目の両方に受験番号と氏名を書きなさい。
4. 終わりの合図があったら、とちゅうでもやめなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

東京2020オリンピック・パラリンピックは、2021年に延期され、無観客で行われました。東京での新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19 という）の感染拡大がおさまらず、直前まで開催されるかどうかもわからない状態でした。COVID-19 は、動物からヒトに感染する「動物由来感染症」の一つとされています。

過去100年間に、動物由来感染症は急激に増加しました。世界人口の増加で、今までヒトが入らなかった森林に農地や住宅地の開拓が広がり、未知のウイルスや細菌を体内に宿す野生生物に接する機会が増えました。また、ヒトやモノが移動する際に、港や空港などでの検査を受けていない食品や動植物も一緒に移動し、それらに含まれるウイルスや細菌に接することもあります。このような接触から、感染症を引き起こす病原体がヒトに広がるのです。

こうした未知のウイルスは、ほとんどのヒトがそのウイルスに対する抗体（体内に侵入した異物を取り除く働き）を持たないために、動物からヒト、ヒトからヒトへと感染し、世界的流行となって人類に脅威をもたらします。つまり、ヒトの健康、動物の健康、環境の健康は生態系の中で互いに関係しあい、影響する「一つのもの」であると言えます。そして、ヒト、動物、環境の全ての健康を守ることが大切であるという考え方を「ワンヘルス」と言います。

グローバル化が進み、ヒトやモノはより速く、より広く移動するようになりました。このため、動物由来感染症は一部の地域の問題ではなくなりました。現在でも、世界では COVID-19 の感染拡大防止策による行動の制限が求められており、多くの国で海外への移動は制限されています。日本でも、多くの学校で行事が縮小され、昼食の時間も黙食があたりまえになりました。

問1 あなたや家庭、学校が COVID-19 の感染拡大防止のために行っている「①日常の取り組み」と、「②なぜそのような取り組みが必要なのか」を書きなさい。ただし、下の解答例に書いてある内容を記入してはいけません。

(解答例)

①日常の取り組み	②なぜそのような取り組みが必要なのか
家族以外の人と会う時は必ずマスクを着用する。	自分が持っているかもしれないウイルスを、飛沫を通して他の人に感染させないため。

問2 「ワンヘルス」という考え方を同級生にわかりやすく説明するために、ポスターを作ることにしました。

(1) ポスターに書き入れるヒト、動物、環境の関係を解答らん「図」で表しなさい。絵で表した図でも、文字を使った図でも、絵と文字の両方を使った図でもかまいません。

(2) (1)で書いた図にキャッチコピーを加えなさい。ただし、本文をそのまま抜き出したキャッチコピーは、0点とします。

※キャッチコピーとは、ポスターなどの内容が伝わりやすいように「見る人の心をつかむ短い言葉」のことです。

(3) 「ワンヘルス」という考え方を同級生にわかりやすく説明するために、あなたは「どのような内容」「どのように工夫」してポスターとキャッチコピーを作成しましたか。50字以上で説明しなさい。

- 2 世界中の人々がだれひとり取り残されずに幸せに生活するためには、「ずっと続いていくより良い社会」が求められています。そのような社会の実現のために、「解決すべき問題」と「その解決法」、「あなたができること」の3点について、200字以上で書きなさい。